

りんご活用美容製品開発事業（第2報）

ーりんごの化粧品素材化・有用性の検討及び美容製品への利用ー

Development of cosmetics using the apple materials（Part 2）

-Research of utility as cosmetic materials -

岩間直子、五十嵐恵、初山慶道、赤田朝子*、今智之*、阿部馨
（*りんご研究所）

全国第一位を誇る青森県のりんごの付加価値を高めていくには、新たな利用分野を取り入れた加工商品の開発が求められている。特に、健康に対する機能性の高い商品の開発や、あるいは食品加工以外の美容製品等の新規分野への参入が有望である。

本事業では食品以外でのりんごの利用拡大を図るために、これまで利用されてこなかった化粧品分野での活用価値に注目し、果実だけでなく未熟果や葉、種子等を含めたりんご全体の化粧品素材としての有用性について検討した。

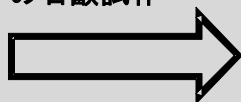
今年度は、化粧品素材として有力な品種及び各部位の選定と検討を行い、肌に優しいスクラブ素材として果肉を、香気成分素材として花を、油脂分素材として種子を選定した。それらのりんご素材の化粧品素材化方法を検討し、果肉のパウダー化、花の香気成分の抽出、種子の搾油を行った。さらに、果肉のパウダー化により得られたりんご繊維パウダーを用いてパウダー石鹸の試作試験を実施して製品化を検討し、さらにりんご繊維パウダー配合石鹸試作品についてアンケート調査による評価を行った結果、品質や使用感においてかなり良い評価が得られた。

なお、本事業は農工連携促進事業としてりんご研究所との連携により実施したものである。



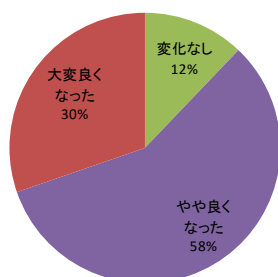
素材① りんご繊維パウダー

パウダータイプの
石鹸試作

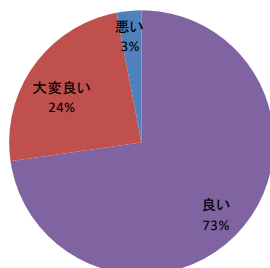


無添加 りんごパウダー入り
パウダー石鹸試作品

肌状態



総合的な使用感



りんご繊維パウダー配合石鹸試作品のアンケート調査結果



素材② りんご種子油